

令和6年度第2回「安全・安心な食のまち・さっぽろ推進会議」会議結果(概要版)

【日 時】令和6年8月8日(木) 10時00分～11時30分

【場 所】WEST19(中央区大通西19丁目)2階 大会議室

【議 事】

1 議 題

- (1) (仮称)第3次安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画に係る提言について
(答申)

2 報告事項

- (1) 第2次安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画令和5年度実施結果について
(2) 令和5年度札幌市食品衛生監視指導計画実施結果について

3 その他

4 質疑応答の内容(○委員、●事務局)

- (1) (仮称)第3次安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画に係る提言について
(答申)について

①	○事務局からの説明を受け、第1回推進会議での指摘に対して、どのような考えで新たな成果指標が設定されたかが、よく理解ができた。 しかし、骨子案に「…一部未達成の項目についても、より適切に事業の効果を図ることができると考えられる指標に見直しを行いました。」と記載があるものの、事務局の説明がなければ、未達成の項目について一般の市民が見直しを行う理由を理解するのは難しいと思う。 パブリックコメントの募集の際に、この点について丁寧な説明があってもよいのではないかと考える。 ●今後、計画書を作成するにあたり、今回説明させていただいた内容を落とし込む方向で検討したい。
②	○「6 施策体系と取組内容」のⅢ食の安全・安心を基盤とした魅力あふれる街の項目について、主な取り組み内容として、「札幌の『食』の競争力向上を目的に、関連企業の共創の場を形成することを通じたイノベーションの誘発に取り組む。」と記載されているが、後半の「関連企業の共創の場を…」の部分がどのようなことを意味しているか判然としない。わかればどのようなイメージを記載しているか伺いたい。(泉委員) ●本記載については経済観光局産業振興課で行っている事業となる。札幌市として、企業同士が協力する場を創出し、その中で新たな技術や活用法を作り出していくというイメージかと思う。 しかし、食の安全・安心という考えにおいては、このイノベーションという言葉に対するイメージが湧きにくいというところは確かにあると思う。 実際の計画書には注釈等をつけるなどにより、わかりやすい標記方法を検討したい。

(2) 第2次安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画令和5年度実施結果について

①	○6ページの主な取組内容に、主たる事業として「多様な媒体を活用した効果的な広報の推進」が記載されている。札幌市ではキッチンメールの発行を行っているかと思うが、これは表中の事業内容①～⑦のいずれに該当するのか。(千葉委員) ●キッチンメールは⑤LINE及び⑦Xで各3回広報を行っているところである。 ○キッチンメールについて、古いものは見直しを行った上で、例えば区民センター等での料理教室で配布するような取り組みも広報手段として効果的ではないかと思う。 ●キッチンメールは過去の号の修正も含め、適宜見直しを行っているところ。現状、保健センターや大型スーパーなどでの配架という形での活用方法が主体となっているが、対面での配布という方法も今後検討していきたいと思う。
②	○4ページに記載のある「さっぽろ食の安全・安心市民交流事業」について、申込方法を伺いたい。 ●広報さっぽろに掲載して一般の市民の方から募集する場合や、別で行っている「食の安全・安心モニター事業」に参加していただいた市民モニターの方に、さらなる学習機会の場として参加していただく場合がある。昨年度はモニター事業の市民モニターの方に参加していただいております。今年度については一般の方から募集を募る予定である。 ○キッチンメールについて、よくできている広報誌であると思う。今回の会議のような場でも配布するなど、是非、積極的に配布して周知していくとよいのではないかと考えている。 また、余談ではあるが、タイトルの「Kitchen Mail」という部分が大きく、その下も記載されている「安全・安心な食のまちさっぽろをめざして。」という目標が、目立たなくなっていると感じる。 ●キッチンメールについては、最新号を来年1月に発行する予定である。デザインについては頂いたご意見を踏まえて検討していきたいと思う。

(3) 令和5年度札幌市食品衛生監視指導計画実施結果について

質問、意見等なし